

会長安全パトロールを実施いたしました。

1. 概要

工事安全と品質確保に埋浚協会を挙げて取り組むことを目的とした、本部役員による安全パトロールを年2回実施することとし、今年度で3回目の会長安全パトロールを10月30日(火) 博多港において、下記工事を対象に実施した。

- ①対象工事:博多港(IC 地区)道路(IP28～CA1)橋梁下部工事
施 工 者 : 若築建設(株)
- ②対象工事:福岡空港回転翼施設地盤改良工事
施 工 者 : あおみ建設(株)

2. 出席者

清水琢三会長、武澤恭司副会長、福田功専務理事、河邊知之理事、秋山優樹理事、竹原有二理事、小西武理事、山口竹彦理事、五百蔵良平理事、野口哲史技術委員長、安全環境対策部会、広報部会、九州支部

○パトロール実施状況



3. パトロールの講評

各理事からは、「両工事とも現場内が、十分に整理・整頓が行われている。」、下部工事においては、「現場内への進入方法が工夫されており通行車両との安全対策が十分に行われている。」、「安全掲示板に注意事項が大きく表示されおり分かりやすい。」、地盤改良工事においては、「毎朝の一人危険予知訓練がユニーク。」「子供の声による注意喚起が工夫されていた」等の意見があり、これからの冬期の季節風への対策や作業員の健康管理徹底等の要望があった。

また、会長から対象工事の現場代理人へ「働き方改革の実態」についての質問があり、現場内測量業務を一人で行うなどの工夫を説明し、完全週休2日を実施している旨の回答があった。

最後に会長から「対象工事については工事完成まで完全週休2日実現に向けて頑張ってもらいたい。他社の現場を埋浚理事の皆さんと一緒にパトロールすることは、大変良いことだと思う。今後も継続したい」と結んだ。